

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	長崎県美容専門学校
設置者名	学校法人 長崎県美容学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
衛生専門	美容科	夜・通信	2214 時間	160 時間	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

<https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/>

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	長崎県美容専門学校
設置者名	学校法人 長崎県美容学園

1. 理事（役員）名簿の公表方法

<https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	公益財団法人 日本アイスホッケー連盟 国際委員会 委員	令和2年6月25日 ～ 令和4年5月31日	学校運営 アドバイザー
非常勤	長崎県美容専門学校 元教員	令和2年6月1日 ～ 令和4年5月31日	現場を熟知した アドバイザー
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	長崎県美容専門学校
設置者名	学校法人 長崎県美容学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。																			
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要) 年度毎につき授業計画の作成を行う。内容として、授業科目名、必須選択の別、担当教員名、到達目標、授業方法(講義、実習の別)、講義目的、毎回ごとの授業内容、成績評価方法・基準、準備学修などについて具体的な指示、教科書・参考文献、履修条件等を明記する。シラバス作成は、各担当講師、教員が作成し新学期にホームページと学生に公表する。																			
授業計画書の公表方法	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/ 学生に対しては「学生の手引き」を登校日に配布する。																		
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。																			
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 成績評価と単位認定については、各学期末に行う試験、実技の成果、履修状況を総合的に勘案して行う。 ・授業科目を履修し成績評価で合格した者であって、出席時数とその教科課程の授業時数の3分の2(実習を伴う教科課程は5分の4)以上の者には所定の単位を与える。 ・各授業科目の成績評価は、総合成績(実習を含む)を100点満点とし、60点以上を合格とする。 試験の成績はA+、A、B、CまたはDの評価を用いる。																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>評価基準</th> <th>参考 (100点満点での目安)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A+</td> <td>到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている</td> <td>90点以上</td> </tr> <tr> <td>A</td> <td>到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている</td> <td>80～89点</td> </tr> <tr> <td>B</td> <td>到達目標を達成している</td> <td>70～79点</td> </tr> <tr> <td>C</td> <td>到達目標を最低限達成している</td> <td>60～69点</td> </tr> <tr> <td>D</td> <td>到達目標を達成していない</td> <td>60点未満</td> </tr> </tbody> </table>	評価	評価基準	参考 (100点満点での目安)	A+	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90点以上	A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80～89点	B	到達目標を達成している	70～79点	C	到達目標を最低限達成している	60～69点	D	到達目標を達成していない	60点未満
評価	評価基準	参考 (100点満点での目安)																	
A+	到達目標を達成し、きわめて優秀な成績をおさめている	90点以上																	
A	到達目標を達成し、優秀な成績をおさめている	80～89点																	
B	到達目標を達成している	70～79点																	
C	到達目標を最低限達成している	60～69点																	
D	到達目標を達成していない	60点未満																	

<p>3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要) 成績の分布を表す資料として、前期後期の定期試験において、履修科目の成績評価を100点満点で点数化し、全科目の平均点(小数点第2位を四捨五入)を算出する方法を導入している。</p>	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/ 学生に対しては「学生の手引き」を登校日に配布する。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業科目を履修し、成績評価で合格した者であって、出席時数とその教科課程の授業時数の3分の2(実習を伴う教科課程は5分の4)以上のものには所定の単位を与える。欠課時数が出席すべき教科課程の3分の1(実習を伴う教科課程にあっては5分の1)以上であっても、十分な補習等を修了した者には単位を与えることができる。各授業科目の成績評価は、総合成績(実習を含む)を100点満点とし60点以上を合格とする。授業科目の成績評価に基づいて、学校長は課程修了の卒業認定を行なう。 ・所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したものには、卒業証書を授与する。 ・専門課程での卒業を認定された学生には、専門士(衛生専門課程)の称号を授与する。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/ 学生に対しては「学生の手引き」を登校日に配布する。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	長崎県美容専門学校
設置者名	学校法人 長崎県美容学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/
収支計算書又は損益計算書	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/
財産目録	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/
事業報告書	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/
監事による監査報告（書）	https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
衛生		衛生専門課程	美容科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	2010 単位時間／67 単位	510 単位時間 /単位	30 単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	1470 単位時間 /単位
			単位時間／単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		92人	0人	9人	6人	15人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>本校の目的は、「学則第一章総則 第1条」に「美容師を養成することを目的とする」と定めている。本校が目標とする美容師とは、美容を通して社会の文化向上に貢献出来るように育成します。</p> <p>教育目的として、</p> <p>① 人間性 社会人として、信頼される人間の育成をします。</p> <p>② 美容技術 ヘアカット、パーマ、ウェーブ、ヘアカラー、メイク、ネイル、エステ、マツ毛エクステンション、着付けなど、すべての技術を習得し、お客様に提案できる美容師に育てます。</p> <p>③ 接客力 お客様に最も大切なホスピタリティを指導し、接客マナー、カウンセリング、アドバイス等できるように育成します。</p>

成績評価の基準・方法
(概要) 授業科目の成績評価は、学年末において、各学期末に行う試験、実技の成果、履修状況を総合的に勘案して行う。授業科目を履修し、成績評価で合格した者であって、出席時数が、その教科課目の授業時数の3分の2（実習を伴う教科課目は5分の4）以上には所定の単位を与える。欠課時数が出席すべき教科課目の3分の1（実習を伴う教科科目にあっては5分の1）以上であっても、十分な補習等を修了した者には単位を与えることができる。各授業科目の成績評価は、総合成績（実習を含む）を100点満点とし、60点以上を合格とする。学期末試験・実技成果・履修状況を総合的に勘案する。
卒業・進級の認定基準
(概要) 進級について、授業科目の成績評価に基づいて、学校長が進級の認定を行う。 卒業について、授業科目の成績評価に基づいて、学校長が課程修了の認定を行う。 また、所定の修業年限以上在籍し、課程を修了したと認めた者には、卒業証書を授与する。
学修支援等
(概要) 定期試験、授業態度、レポート提出状況等を総合的に勘案して行う。試験によって60点以上に満たない場合、再試験、再々試験を行う。また、病気、怪我、忌引き、交通機関の事故、延着、就職試験、その他やむを得ない事由により定期試験が受けられなかったものに対しては、追試験を行う。また、授業内容等が理解できない学生に対して、授業の振り返りを放課後、または長期休みに行う。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
33人 (100%)	1人 (3%)	31人 (94%)	1人 (3%)
(主な就職、業界等) ヘアサロン・ネイルサロン・エステティックサロン・ブライダルサロン アイラッシュサロン・化粧品販売業等			
(就職指導内容) 毎年4月に学校内で企業参加の就職説明会を開催し、学生に対しての就職支援に努めている。また、個別に2者面談による、指導を定期的に行う。			
(主な学修成果（資格・検定等）) 美容師国家試験・IMAメイク技能検定・INAネイルスペシャリスト技能検定 色彩検定1級・色彩検定2級・色彩検定3級・esthetic FUKUSHO エステティック認定資格			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
64 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) クラス担任制による指導、個別面談等の対処		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
美容科	100,000 円	510,000 円	454,800 円	
修学支援 (任意記載事項)				
指定校推薦の場合、受験料無料・入学金無料 (条件有り) 学校推薦の場合、受験料半額 専門実践教育訓練給付金が受けられる 高等教育就学支援新制度対象校				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
<p>学校は、企業等関係者に対してキャリア教育および実践的職業教育をはじめとした教育活動、その他の学校運営状況等について適切な情報を提供することにより、相互間の対話の促進、企業等の連携による実習授業、就職指導等の活動の充実や、産業界のニーズを踏まえた教育内容・教育方法の改善に努めることを情報提供の基本方針とする。</p> <p>・評価結果の項目 (教育課程、進路指導など)</p> <p>委員会は、次に掲げる事項を評価し、その結果を簡潔かつ明瞭に取りまとめ、学校長に報告する。</p> <p>(1) 重点目標や自己評価の評価項目等に関する事項 (2) 自己評価の結果の内容に関する事項 (3) 自己評価の結果を踏まえた改善方策、改善に向けた取組に関する事項 (4) その他、自己評価の結果の評価に関する事項</p> <p>・評価委員の構成</p> <p>委員会を構成する委員は最低5名とし、次に掲げる者のうちから、校長が委嘱する。</p> <p>(1) 学校の専門分野における業界関係者 (2) 卒業生 (3) 地域住民 (4) その他教育に関する有識者 (5) 学校運営に関する専門家 (6) 地域の地方公共団体等の関係者</p> <p>・評価結果の活用方法</p> <p>学校長のもと、早急に取りかかれる案件につき、早期に改善を行う。経費のかかる案件については次年度の予算に組み込み、中長期的に改善を行う。</p>		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
岩崎内科医院 元医院長	令和2年10月1日～ 令和3年5月31日	地域住民

長崎市桜馬場1丁目自治会 会長	令和元年11月1日～ 令和3年10月31日	地域住民
長崎県立五島南高等学校 元校長	令和元年11月1日～ 令和3年10月31日	高校等評価
サロン経営者	令和元年11月1日～ 令和3年10月31日	企業等代表
卒業生	令和元年11月1日～ 令和3年10月31日	卒業生
学校関係者評価結果の公表方法		
(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 公表方法・・・HP上に公開。 https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/ 学校運営に対し改善、提案などを行う。 公表時期・・・夏期、冬期(年2回)		
第三者による学校評価(任意記載事項)		
平成28年3月 一般社団法人 専門職高等教育質保証機構より、認定をうける。 http://n-beautycollege.ac.jp/info.html		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) https://n-beautycollege.ac.jp/about/info/
--